

平成20年度第2回図書館協議会配布資料一覧

- 1 次第
- 2 県立図書館の運営状況について 【資料1】
- 3 企画展「大地震と県民の安全を考える」の開催について 【資料1 - 2】
- 4 県立図書館のサービス指標と達成目標について 【資料2】
- 5 県立図書館のサービス数値目標の達成状況（17～19年度） 【資料2 - 2】
- 6 第7期千葉県生涯学習審議会第4回会議及び
平成20年度第2回千葉県社会教育委員会会議資料 【資料3】

平成20年度第2回図書館協議会次第

日 時 平成20年12月4日(木)

午後1時30分から

場 所 千葉県立西部中央図書館 多目的室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 県立図書館の運営状況について(経過報告)

(2) 県立図書館のサービス指標と達成目標について(協議)

(3) その他

4 そ の 他

5 閉 会

図書館事業概要

(平成20年10月31日現在)

項目		館名					
		中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計		
資料整備	資料総数	受入冊数	5,970 冊	3,683 冊	6,207 冊	15,860 冊	
		(内 購入冊数)	5,845 冊	3,600 冊	8,229 冊	17,674 冊	
	購入費		3,811 冊	2,406 冊	5,951 冊	12,168 冊	
			3,704 冊	2,219 冊	6,748 冊	12,671 冊	
	蔵書数 ¹		19,135 千円	14,025 千円	21,217 千円	54,377 千円	
			20,294 千円	10,841 千円	25,169 千円	56,304 千円	
	新聞・雑誌・法規集		853,672 冊	235,231 冊	213,041 冊	1,301,944 冊	
			847,702 冊	231,548 冊	206,834 冊	1,286,084 冊	
	新聞・雑誌・法規集		81紙・3,283誌・37種	93紙・660誌・11種	28紙・381誌・4種	202紙・4,324誌・52種	
			81紙・3,553誌・37種	93紙・660誌・11種	27紙・383誌・4種	201紙・4,596誌・52種	
サービス業務	利用状況	入館者数	58,346 人	136,736 人	116,493 人	311,575 人	
		登録者数 ¹	54,797 人	136,302 人	120,471 人	311,570 人	
	個人貸出		16,436 人	23,218 人	13,608 人	53,262 人	
			14,288 人	21,478 人	12,474 人	48,240 人	
	資料複製サービス		31,206 冊	39,460 冊	38,878 冊	109,544 冊	
			29,154 冊	38,453 冊	37,317 冊	104,924 冊	
	参考調査 照会・質問		97,814 枚	55,916 枚	9,149 枚	162,879 枚	
			98,896 枚	56,418 枚	10,338 枚	165,652 枚	
	協力業務	図書館間貸出冊数		5,761 件	7,558 件	4,799 件	18,118 件
				5,623 件	8,547 件	5,389 件	19,559 件
市町村立図書館間等の相互貸出冊数 ²			26,624 冊	10,126 冊	18,546 冊	55,296 冊	
			23,482 冊	9,549 冊	15,697 冊	48,728 冊	
	18,733 冊	14,472 冊	6,848 冊	40,053 冊			
	15,632 冊	13,342 冊	5,835 冊	34,809 冊			

下段は、平成19年10月末の数値

1 蔵書数及び登録者数の下段は、平成20年4月当初の数値

2 各エリア内の相互貸出冊数で上期(4～9月)集計分

県立図書館の業務報告（平成20年10月31日現在）

1 中央図書館

(1) 市町村図書館等の援助機能の充実

ア 図書館協力業務

資料の図書館間貸出 26,624冊

協力車の運行 週1便の定期搬送の実施

協力レファレンスの実施 402件

イ 研修事業

新任職員研修会 1回(90名)

地域行政資料研修会 1回(33名)

レファレンス研修会 初級1回(31名) 中級2回(延べ34名)
基礎研修2回(延べ75名)

児童サービス基礎研修会 4回(延べ169名)

公共図書館サービス計画研修会 1回(12名)

図書館音訳者養成講座 2回(延べ42名)

ウ 図書館運営相談 30件

エ 図書館未設置市町村援助 運営相談6市町、
相互貸借ネットワークの21年度加入申込：3町(白子町、長南町、御宿町)

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

ア 図書館資料の電子化対象資料を選定した

6点(さはらタイムス、房南捕鯨志、百家明鑑など)

イ 目録・索引類の作成

41タイトル3,300データを入力(印西史談、東総文化など)

ウ 調査・相談業務の拡充

調査相談件数5,761件(うちメールレファレンス199件)

レファレンス事例集 20件作成目途

パスファインダー 2件作成(千葉県環境と生物、千葉県夏の高校野球)

(3) 総合的運営機能の充実

ア 県立全館の資料整備

図書5,970冊、逐次刊行物3,401タイトルの収集

イ 市町村図書館等の除籍資料の保存

図書36冊、雑誌139冊の受け入れ

ウ 県立図書館情報システムの拡充整備

横断検索参加自治体を3市町追加(柏市、館山市、大網白里町)

エ 障害者サービス

録音図書472タイトル、視聴覚資料91点、点字資料35点

携帯用録音プレイヤーの貸出54回、SDカードの貸出7回

オ 児童サービス

協力レファレンス150件、運営相談2件、

読み聞かせボランティア養成講座講師派遣6回、読み聞かせ講座1回(103名)

2 西部図書館

(1) 市町村図書館等の援助機能の充実

ア 図書館協力業務

資料の図書館間貸出 10,126冊

協力車の運行 週1便の定期搬送の実施

協力学ファレンスの実施 523件

県内公共図書館等所蔵新聞・雑誌総合目録の更新

イ 研修事業

障害者サービス研修会 1回(24名)

図書館ネットワーク研修会 1回(33名)

資料補修研修会 1回(12月開催・準備中)

図書館音訳者養成講座(中級) 4回(1~2月開催・準備中)

ウ 図書館運営相談 17件

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

ア 目録・索引類の作成

7,816件データを入力(千葉県関係新聞記事索引)

イ 調査・相談業務の拡充

調査相談件数 7,558件(うちメールレファレンス96件)

レファレンス事例集 6件作成、3件作成中

パスファインダー 1件作成中(ジェネリック医薬品)

(3) 総合的運営機能の充実

ア 県立全館の資料整備

図書3,683冊、逐次刊行物764タイトルの収集

イ 市町村図書館等の除籍資料の保存

雑誌32タイトルの受け入れ

ウ 県立図書館情報システムの拡充整備

横断検索参加自治体を3市町追加(柏市、館山市、大網白里町)

エ 障害者サービス(貸出)

録音図書3,682タイトル、視聴覚資料43点、点字資料263点

3 東部図書館

(1) 市町村図書館等の援助機能の充実

ア 図書館協力業務

資料の図書館間貸出 18,546冊

城西国際大学水田記念図書館資料の公共図書館貸出が開始(館内閲覧のみ)

協力車の運行 週1便の定期搬送の実施

協力レファレンスの実施 285件

イ 研修事業

図書館運営研修会 1回(37名)

資料検索研修会 1回(7名)

図書館音訳者養成講座 5回(11~12月に開催)

ウ 図書館運営相談(11市町立図書館巡回) 64件

(20高等学校図書館巡回) 30件

(2大学図書館巡回) 5件

エ 図書館未設置市町村援助 運営相談(5町巡回) 15件

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

ア 目録・索引類の作成

1,000件作成(東総地域人名索引:入力は年度末に実施)

イ 調査・相談業務の拡充

調査相談件数 4,799件(うちメールレファレンス 69件)

レファレンス事例集 3件作成中

パスファインダー 2件作成

(ブラジルについて調べる、シンガポールについて調べる)

(3) 総合的運営機能の充実

ア 県立全館の資料整備

図書6,207冊、逐次刊行物413タイトルの収集

イ 市町村図書館等の除籍資料の保存

図書121冊の受け入れ

ウ 県立図書館情報システムの拡充整備

横断検索参加自治体を3市町追加(柏市、館山市、大網白里町)

エ 障害者サービス(貸出)

録音図書859タイトル、視聴覚資料283点

企画展「大地震と県民の安全を考える」の開催について

平成 20 年 12 月 4 日

千葉県立中央図書館

1 趣 旨

2007年7月の新潟中越沖地震、2008年5月の中国四川大地震、同年6月の岩手宮城内陸地震と大地震が頻発している中、県民一人ひとりが大地震へ備えるという認識を持ち、出来ることはすぐにでも実行することが大切です。そこで、県立図書館等の所蔵資料を活用しながら、関係機関の協力を得て、千葉県に被害を与えたこれまでの大地震・大津波の状況等を展示し、県民の防災意識の高揚を図ることとしました。

2 主催者等

主催：千葉県立中央図書館

協力：千葉県総務部消防地震防災課、千葉県県土整備部河川整備課、
千葉市消防局

3 展示期間 平成20年12月20日(土)～平成21年2月1日(日)

{ 休館日(12月22日、28日～31日、1月1日～5日、
13日、16日、19日、26日)を除く }

4 主な展示内容

(1) 千葉県に被害を与えた地震・津波

過去に被害を与えた主な地震

- ・ 地震の大きさ、津波の高さ、死亡者数等

元禄・延宝地震における津波高・被害の状況

- ・ 津波の到達点・到達時間・高さ表示・津波高表示板の設置状況
- ・ 特に被害を受けた地域の状況(古文書、被害状況拡大図等)
- ・ 模型による津波の高さのイメージ表示
- ・ DVD映像：元禄・延宝地震津波のシミュレーション

関東大震災の被害状況

- ・ 安房震災の被害状況

(2) 想定地震と想定被害

千葉県地震被害想定調査結果

大地震による被害を抑えるための対策等

(3) 地震から身を守るために

震災・防災関係の各種書籍等の紹介

震災・防災関係の調べ物をするためのパスファインダーの提示

防災グッズの現物展示

5 その他

- ・ 県立千葉中学校生徒の特別活動として予定{12月19日(金)}
企画展示の見学、地震の話・図書館の話、地震体験車の試乗など
- ・ 来年1月16日(金)休館日に、校外学習希望校を募集予定

(参考)

1 延宝地震 (M 8 . 0)

1677 年 11 月 4 日に発生し、死者数 5 3 5 人以上(千葉県内溺死者 246 人、家屋全壊 2 2 3 戸余)

* 千葉県防災ポータルサイトで「地域毎に、元禄地震と延宝地震を想定した詳細な浸水予測や、防災拠点などの案内を見ることができ」(千葉県津波浸水ハザードマップ)

* 元禄地震・延宝地震を想定した津波標識を、銚子～富津区域に 1 8 4 基設置 (平成 1 7 ~ 1 9 年度に千葉県設置)

2 元禄地震 (M 7 . 9 ~ 8 . 2)

1703 年 12 月 31 日に発生し、死者数 1 万人以上 (千葉県内死者 6 , 5 3 4 人、うち津波による死者数 2000 人以上、家屋全壊 9 6 1 0 戸)

3 関東大震災 (M 7 . 9)

1923 年 9 月 1 日に発生し、死者・不明者数 1 4 2 , 0 0 0 人余 (千葉県内死傷者行方不明 4 , 7 6 8 人、家屋全壊 3 1 , 1 8 6 戸、家屋焼失 647 戸、家屋流失 71 戸)

4 千葉県地震被害想定調査結果

近い将来千葉県に大きな影響を与える 3 地震について被害想定を実施。対象地震は、東京湾北部地震 (M 7 . 3) , 千葉県東方沖地震 (M 6 . 8) , 三浦半島断層群による地震 (M 6 . 9) の 3 地震。

東京湾北部地震：震度 7 の地域はないものの、東京湾岸を中心に県域の約 4 0 % 以上が震度 6 弱以上。

千葉県東方沖地震：茂原市、東金市、八街市、いすみ市などに震度 6 弱の地域が散見され、震度 6 弱以上の地域は県土の 0.6% 程度。

三浦半島断層群による地震：富津市、君津市、木更津市などの内湾沿いに震度 6 強の地域が見られ、震度 6 弱以上の地域は県土の約 5% 程度。

調査結果概要

	全半壊建物棟数	死傷者数	直接経済被害額
東京湾北部地震	2 2 0 , 0 7 6 棟	4 2 , 5 8 1 人	9 7 , 5 4 0 億円
千葉県東方沖地震	5 , 3 2 5 棟	1 , 6 9 8 人	3 , 6 8 3 億円
三浦半島断層群による地震	2 4 , 7 1 5 棟	2 , 9 3 3 人	9 , 5 2 3 億円

千葉県立図書館のサービス評価指標

1 目的

千葉県立図書館（中央図書館、西部図書館、東部図書館）の運営の改善を図るため、サービス評価指標を設定し、その達成に努めます。

また、その達成状況の自己点検及び第三者評価を踏まえ、図書館サービスの一層の改善に努めるとともに、第三者評価を踏まえた運営状況を公表します。

2 期間

平成 20 年度から平成 22 年度までの 3 年間とします。

3 千葉県図書館協議会による第三者評価と運営の改善

各年度の図書館サービス評価指標の達成状況については、翌年 6 月末までに千葉県図書館協議会に報告するものとし、同協議会による第三者評価を踏まえ、必要な運営改善に努めます。

また、その改善状況については、同協議会に報告します。

4 第三者評価を踏まえた運営状況の公表

各年度の図書館サービス評価指標の達成状況及び千葉県図書館協議会による第三者評価については、千葉県立図書館ホームページで公表します。

* 1 図書館法第 7 条の 3 及び 4

* 2 公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準（文部科学省告示第 132 号平成 13 年 7 月 18 日）の 1 総則（ 3 ）図書館サービスの計画的実施及び自己評価等

千葉県立図書館サービス評価指標

区分	サービス評価指標	達成目標	達成方法
1 所蔵資料の充実	資料購入冊数	概ね現状維持 平成22年度目標 20,000冊 (平成19年度実績 20,062冊)	県民の調査研究活動を支援するために必要な資料を購入するように努めます。 3館で効果的な分担収集を進めます。
	寄贈資料受入冊数	3年間で1%増 平成22年度目標 8,300冊 (平成19年度実績 8,195冊)	出版情報の収集等に努め、寄贈依頼を積極的に行います。 市町村立図書館等の除籍資料収集のため理解を求める広報を行い、情報交換に努めます。
	千葉県関係資料の受入冊数	3年間で6%増 平成22年度目標 3,200冊 (平成19年度実績 3,006冊)	資料発行状況把握を強化し、特に千葉県刊行資料については収集対象資料は網羅的に収集するよう努めます。 他機関との連携を強化し、資料や情報の交換に努めます。
2 来館利用・情報アクセスの充実	来館者数	3年間で1%増 平成22年度目標 508,000人 (平成19年度実績 503,078人)	県民の課題解決に資する企画展等を実施するなど、積極的な広報活動を進め、県民の来館を促します。 利用者層や利用目的に対応したサービスの充実に努めます。
	来館者満足度	3年間で満足度70%以上(満足度6段階の上位2段階)を保ちながら、さらに向上するように努めます。 (19年度実績77%)	利用者への明るい対応を心掛け、気持ちよく利用してもらえるよう努めます。 研修等により職員のスキルアップを図り、的確な対応で信頼度を高めるように努めます。
	ホームページへのアクセス件数	3年間で20%増 平成22年度目標 580,000件 (平成19年度実績 485,299件)	横断検索や索引など県立図書館ホームページ上の検索、表示項目の充実に努めます。 ホームページに掲載する内容の充実に努めます。 利用者へのパスワード発行を促進し、インターネットによる予約の増加を図ります。 相互協力支援システムの充実に努め、市町村立図書館等からのアクセスを増加させるように努めます。
3 レファレンスサービスの充実	レファレンス件数	概ね現状維持 平成22年度目標 32,000件 (平成19年度実績 32,634件)	利用者へレファレンスサービスについて積極的に広報し、利用の促進に努めます。 レファレンス事例集の充実に努めます。 県立図書館ホームページ上のメールレファレンスの利用促進を図ります。 テーマ別にパスファインダーを作成し、レファレンスの活性化を図ります。 利用者への明るい対応を心がけるとともに、フロアワークを推進して気軽に相談できる雰囲気作りに努めます。
	調査研究支援ツール作成件数	パスファインダーの作成に着手し、レファレンス事例集の充実に努めます。 a レファレンス事例データ提供:170件 b パスファインダーの作成・更新:30件 (平成19年度実績 a:3件)	レファレンス事例データを国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供します。 利用者の調査を支援するための特定のテーマや展示等に関連してパスファインダーを作成するように努めます。
4 関係の葉情充 県報実	千葉県関係情報の発信	質的充実に努めます。	千葉県関係のデータベースの充実に努めます。 千葉県関係のテーマ企画展を実施するほか、県民ニーズが高い課題やテーマについての定期的な情報発信に努めます。

区分	サービス評価指標	達成目標	達成方法
5・学 家 校 庭 の 教 育 支 援	学校教育支援・ 家庭教育支援の 質的充実	学校図書館運営の充実や子どもの読 書活動の推進に向けた支援用マニユ アルの作成や連携の仕組みづくりに取り 組めます。	支援用マニュアルに必要な内容や課題について 図書館職員や学校図書館関係者等に意見を聴取 し、実践的な事例を調査研究して、役に立ち、分 かりやすい資料作成をめざします。 (例 絵本の読み聞かせ、ブックリスト、学校図 書館運営〔選書等〕、乳幼児サービス〔ブッ クスタート、わらべうた〕等) マニュアルの作成に当り、図書館職員や学校図 書館関係者等と検討する中で、併せて、連携の仕 組みづくりの検討についても取り組めます。
6 児 童 サ ー ビ ス の 充 実	児童サービスの研修 内容の質的充実	児童サービス研修内容の質的充実を 検討し、段階的に充実します。	子どもの発達に対応した児童サービスの向上を めざし、参加者の経験や課題を考慮して、基本から 専門までの知識、技能を身につけられる研修に 留意します。 各地域の出張研修のテーマや開催方法などにつ いて図書館職員や学校図書館関係者等への意見聴 取や、先進事例を参考に検討します。 地域の図書館サービス状況に応じ、必要な研修 のモデルプログラムを段階的に検討し、実施しま す。
7 障 害 者 サ ー ビ ス の 充 実	録音図書貸出 タイトル数	3年間で 10%増 平成22年度目標8,000タイトル (平成19年度実績7,307タイトル)	ホームページ等で障害者サービスについて積極 的にPRするとともに、利用者の拡大に努めま す。 より使いやすい目録(例:音声版、点字版)の 作成を検討するとともに、メールによる貸出申込 みを積極的に受け付けるなどをして貸出点数の増加 を図ります。 録音図書の目録を全国のネットワークに登録 し、県内外の視覚障害者等が相互貸借により利用 しやすくします。 利用者の要望の聴取に努め、迅速な対応を心が けます。
8 市 町 村 ト ン ク の 充 実	相互協力貸出冊数	3年間で8%増 平成22年度目標 90,000冊 (平成19年度実績 83,415冊)	図書館訪問や運営相談を通じて県立所蔵資料の 利用促進を図ります。 市町村立図書館職員や学校図書館職員を対象と した研修会などで利用促進のPRに努めます。 大学との連携の推進を図ります。
	協力レファレンス 件数	概ね現状維持 平成22年度目標 2,800件 (平成19年度実績 2,793件)	図書館訪問・広報・事務連絡等で、市町村立図 書館や読書施設等に対する県立図書館の援助体 制を明確に示し、協力レファレンスの利用を促す ように努めます。 レファレンス事例を充実させ、利用促進を図り ます。 県立図書館の豊富な蔵書や多様なデータベース を駆使して、迅速・的確な回答に努めます。
9 職 員 研 修 等 の 充 実	体系的・実践的な 研修の実施	体系的・実践的な研修方法を検討 し、段階的に研修の充実を図ります。	研修の体系化・充実方策について総合的な検討 を図るため、3館で研修評価のためのアンケート 導入を検討します。 アンケート結果や先進事例を検討し、基本的な 考え方をまとめます。 課題解決に向け実践的な研修の段階的な実施に 取り組めます。
	図書館ボランティア の育成	3年間で 20%増 平成22年度目標 320人 (平成19年度実績 267人)	引き続き、音訳者養成講座等を実施します。 図書館ボランティアの先進事例を調査し、県民 に情報提供します。

(参考)

指標説明

区分	サービス評価指標	説明
1 所蔵資料の充実	資料購入冊数	・ 県立図書館が、一般流通している図書の中から県民に役に立つ資料をどれくらい購入しているかを測る指標。
	寄贈資料受入冊数	・ 県立図書館が、書店等では入手できない専門的な図書資料を寄贈資料としてどれだけ集めているかを測る指標。
	千葉県関係資料の受入冊数	・ 千葉県に関する図書、雑誌、新聞など様々な資料は、官公庁刊行物や自費出版物など一般に流通していないことが多く散逸しやすい。購入と寄贈とも一層の収集に努め、将来にわたって提供できるよう収集している度合いを示す指標。
2 アクセシビリティの充実	来館者数	・ 県立図書館サービスを受けるため、どの程度県立図書館に直接来館して利用しているかを示す指標。
	来館者満足度	・ 県立図書館サービス等に対し、来館した利用者がどの程度満足しているかを示す指標。 ・ 県民の期待にどの程度応えられているかがわかる。 ・ これまでの満足度（非常に満足+満足+やや満足）から満足度（非常に満足+満足）に変更する。
	ホームページへのアクセス件数	・ インターネットの急速な普及に伴い、県立図書館ホームページの情報発信サービスの充実度を把握するため、その利用の度合いを示す指標。
3 サービスの充実	レファレンス件数	・ 県内の中核的調査研究図書館として機能しているか測る指標。 ・ メールレファレンスは、非来館型のサービスであり、まだ増加する可能性がある。
	調査研究支援ツールの充実	・ 県民の調査研究を支援するためのパスファインダーの充実や、国立国会図書館レファレンス協同データベースにどのくらい情報を提供できたかを示す指標。
4 関係情報の充実	千葉県関係情報の発信	・ 県民の調査研究を支援する千葉県関係情報の質的充実が図れたかを示す指標。 ・ ホームページにデータベースを公開している千葉県歴史関係雑誌記事索引、千葉県新聞雑誌記事索引のほか、千葉県関係のテーマ企画展、県民ニーズが高い課題やテーマについての定期的な情報発信。
5 学校家庭教育の充実	学校教育支援・家庭教育支援の質的充実	・ 学校教育や家庭教育を支援するため、学校図書館の運営や子どもの読書活動の推進に向けた支援用マニュアルの作成や連携の仕組みづくりの取組を示す指標。

区分	サービス評価指標	説 明
6 児童サービスの充実	児童サービスの研修内容の質的充実	・児童サービス研修内容の質的充実を検討し、段階的に充実するための指標。
7 障害者のサービス充実	録音図書貸出タイトル数	・視覚障害者等活字による読書の困難な利用者の資料要求にこたえるため、県立図書館がどのくらい録音図書の貸出しサービス（自館製作、全国の公共・点字図書館から取寄せによる提供）を実施しているかを示す指標。
8 市町村図書館ネットワークの充実・援助	相互協力貸出冊数	・県民が、県立図書館の所蔵資料を取り寄せ、身近な図書館（*）を通じて利用する度合いを示す指標。県外の図書館の依頼に応じて県立図書館の所蔵資料を貸し出しする度合いを示す指標。 *市町村立図書館、図書館未設置市町村読書施設、高等学校図書館等
	協力レファレンス件数	・市町村立図書館等で解決しにくいレファレンスの質問を県立図書館が回答処理した件数で、県立図書館の中核的調査研究機能による援助の度合いを示す指標。
9 職員研修等の充実	体系的・実践的な研修の実施	・図書館法の改正により図書館職員の研修の充実方策が課題となっており、体系的・実践的な研修の充実を計画的に図っていくための指標。
	図書館ボランティアの育成	・音訳ボランティアをはじめ、活動に必要な知識や技術を習得した図書館ボランティアを育成するために開催した講座の回数で、どの程度育成に努めているかを示す指標。 図書館音訳者養成講座（3館）、子どもの本の読み聞かせ講座（中央）、図書館ボランティア養成講座・体験講座（西部）の参加人数。

千葉県立図書館のサービス 数値目標の達成状況

平成20年7月25日

サービス指標	数値目標	区分	17年度	18年度	19年度
(1) 市町村立図書館等 への貸出冊数	3年度間で8%増 平成19年度目標 54,621冊 (平成15年度実績 50,575冊)	貸出冊数	54,988冊	57,956冊	62,441冊
		目標達成率	100.7%	106.1%	114.3%
		備考			
(2) レファレンス件数	3年度間で4%増 平成19年度目標 37,446件 (平成15年度実績 36,006件)	件数	40,074件	28,758件	33,721件
		目標達成率	107.0%	76.8%	90.1%
		備考		中央図書館臨時 休館 H19.2メール レファレンス開始	
(3) 来館利用者満足度	3年度間で満足度85%以上 (満足度6段階評価の上 位2段階においては55% 以上)を保ちながら、更に 向上するよう努めます。 平成19年度目標85%以上 (上位2段階55%以上) (平成15・16年度実績 平均86.5%) (上位2段階は平均51%)	満足度	90.0%	90.0%	92.0%
		目標達成率	105.9%	105.9%	108.2%
		(上位2段階満足度)	70.0%	70.0%	77.0%
		(目標達成率)	127.3%	127.3%	140.0%
		備考			
(4) 資料受入冊数 (寄贈受入冊数)	3年度間で1%増 平成19年度目標 5,934冊 (平成15年度実績 5,875冊)	受入冊数	6,563冊	8,003冊	8,195冊
		目標達成率	110.6%	134.9%	138.1%
		備考			
(5) 県立図書館 ホーム ページ アクセス件数	3年度間で9%増 平成19年度目標 235,798件 (平成15年度実績 216,328件)	件数	319,115件	359,388件	485,299件
		目標達成率	135.3%	152.4%	205.8%
		備考			